

想定される地震

桜井の近傍には内陸型地震の発生源である次のような断層帯があります

断層名	断層の場所	マグニチュード
奈良盆地東縁断層帯	奈良盆地の東縁に沿って桜井市から天理市、奈良市を通り北方へ延びる長さ35kmの断層帯	7.5
中央構造線断層帯	香芝市から南下し五条市から吉野川沿いに西側に延びる長さ74kmの断層帯	8.0
生駒断層帯	柏原市より生駒山地に沿って北方に延びる長さ38kmの断層帯	7.5
木津川断層帯	笠置町から木津川に沿って東側に延びる長さ31kmの断層帯	7.3
あやめ池撓曲一松尾山断層	奈良市の西側から大和郡山市、斑鳩町、三郷町を通る長さ20kmの断層	7.0
大和川断層帯	大和郡山市から大和川の支流に沿い西南方向に延びる長さ22kmの断層帯	7.1
千股断層	吉野町千股から吉野川の北側を西方向に伸びる長さ22kmの断層	7.1
名張断層	岡寺付近から桜井市粟原を通り室生ダム方向に向かう長さ18kmの断層	6.9

桜井に影響を及ぼす海溝型地震は次のパターンが想定されています

	対象地震	マグニチュード
①	東南海・南海地震 同時発生	8.6
②	東南海地震	8.2
③	南海地震	8.6
④	東海・東南海地震 同時発生	8.3
⑤	東海・東南海・南海地震 同時発生	8.7

想定される地震による桜井市の被害予測は下記の通りです。

断層名	大きさ マグニチュード	桜井市の場合					
		最大震度	死者	負傷者	住宅全壊	住宅半壊	炎上出火
奈良盆地東縁断層帯	7.5	7	232(名)	744(名)	5,595(棟)	2,834(棟)	59(件)
中央構造線断層帯	8.0	6強	158	758	3,662	3,284	36
生駒断層帯	7.5	6強	108	986	2,465	3,328	26
南海・東南海地震	8.6	5強	1	5	19	22	0

** 上記データは平成16年10月に公表された「第2次奈良県地震被害想定調査」報告書より抜粋したものです。 **